



## 全国曹洞宗青年会の活動紹介(五十)

全国曹洞宗青年会(以下、全曹青)災害復興支援部では、全国で発生する自然災害などに対し、加盟曹青会や関係諸団体と連携し、速やかに情報共有を行うと共に、被災された寺院や地域住民の皆さまへの支援活動に取り組んでおります。

今年の六月から八月にかけて、全国各地で豪雨災害が発生いたしました。次々と発生する発達した雨雲が線状に並び、数時間にわたって大雨をもたらす線状降水帯は、河川の氾濫や土砂災害など、各地に甚大な被害を及ぼしました。

この豪雨災害でお亡くなりになられた方がたのご冥福をお祈りす



秋田県五城目町社会福祉協議会へマスク寄贈

ると共に、被害に遭われました皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

今号では被害の大きかった福岡県と秋田県での支援活動についてご紹介いたします。

福岡県久留米市では、床上浸水、床下浸水あわせて三、七〇〇棟にのぼり、曹洞宗寺院を含む多くの家屋が被害に遭われました。七月二六日に全曹青から七人と福岡県曹洞宗青年会、熊本県曹洞宗青年会、一般社団法人OPEN JAPAN へと協働して被災寺院の復旧作業を行いました。炎天下にスコップで土砂をかき出すのは重労働でし

## 令和五年夏季豪雨災害の支援活動

災害復興支援部事務局長

清泉 しみず  
雄太 ゆうだい



支援活動の様子（福岡県久留米市）

たが、参加者と地元の方がお互いに労わりながら精力的に活動をいたしました。

秋田県では、多くの河川が氾濫し、住宅への浸水被害が八、〇〇〇棟を超える甚大な豪雨災害となりました。地元の秋田県曹洞宗青年会を中心に、浸水した住宅の家財の撤去や泥の運び出しなど、連日わたり支援活動を行いました。

また現地では、災害発生から日が経過してもなお道路には土が多く残り、車が走るたびに粉塵が舞っている状態でした。防塵マスクの在庫が不足しているとの情報を受け、全曹青から五城目<sup>ごじょうめ</sup>町<sup>まち</sup>社会福祉協議会へボランティア活動支援のため防塵マスク二〇〇枚をお届けいたしました。



●執筆者プロフィール  
清泉雄太

災害復興支援部事務局長  
静岡第三同志会所属

両県を始め被災地曹青会では、多くの青年僧侶が社協ボランティアセンターや関係諸団体と連携し、ボランティア活動を行いました。改めて支援活動、情報提供にご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

災害復興支援部では引き続き支援活動を継続していくと共に、支援活動を通して生まれたご縁を大切にし、今後発生するであろう災害に対しても尽力してまいります。